

令和4年9月12日

県内消防機関初！12誘導心電図伝送システム導入！

市内の救急車に12誘導心電図伝送装置を搭載し、救急車内から心電図を病院へ伝送して、急性心筋梗塞の傷病者に対する医師による早期診断・早期治療に繋がります。

記

1. 搭載台数3台

- (1) 福島消防署第1救急隊
- (2) 福島消防署清水分署第1救急隊
- (3) 福島南消防署杉妻出張所救急隊

2. 12誘導心電図データ伝送対応病院

県立医科大学附属病院、大原総合病院
 福島赤十字病院、あづま脳神経外科病院
 済生会福島総合病院、福島第一病院
 わたり病院

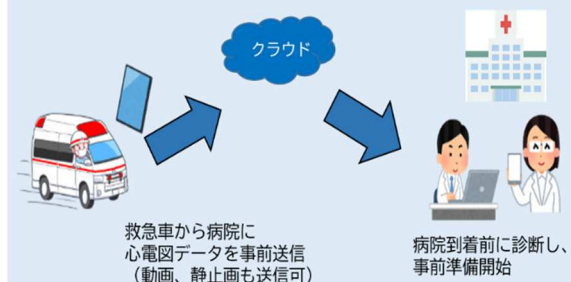
12誘導心電図

定期健康診断などでも実施される検査で、四肢と胸部に計10個の電極を装着し、心臓に流れる電流を12方向から詳細に記録できる心電図

12誘導心電図伝送システム

モバイル心電計を用いて急性心筋梗塞などの患者さんの心電図データを救急現場で取得し、クラウド上に伝送することで、瞬時に病院にいる医師が診断することを可能とするシステム

【12誘導心電図伝送のイメージ】



伝送システムフロー

- ①救急車に収容した急性心筋梗塞を疑う傷病者の心電図を測定し、データを救急車内の端末を使用してクラウド上に送信
- ②搬送先の医師らと同時双方向に共有し、急性心筋梗塞と診断すれば、その時点で病院内のスタッフ招集および手術の準備
- ③救急車が病院へ到着する前から搬送先の医師らによる確定診断及び手術の準備を行うことで、手術開始までの時間短縮を図り、傷病者の予後の改善及び死亡率の低下を目指す。

